

トピックス

「道路メンテナンス技術集団」の一員として職員を派遣、直轄診断を実施

平成 29 年度の直轄診断が乙姫大橋（岐阜県中津川市）と音沢橋（富山県黒部市）で行われ、土木研究所から専門家として構造物メンテナンス研究センターの玉越上席研究員、七澤上席研究員、先端材料資源研究センターの古賀上席研究員を派遣しました。

直轄診断は「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの（複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等）に限り、国が地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うものです。

○乙姫大橋（岐阜県中津川市）

実施日：平成 29 年 11 月 20 日（月）

直轄診断実施主体：中部地方整備局

派遣者：構造物メンテナンス研究センター 玉越上席研究員

○音沢橋（富山県黒部市）

実施日：平成 29 年 11 月 22 日（水）

直轄診断実施主体：北陸地方整備局

派遣者：構造物メンテナンス研究センター 七澤上席研究員

先端材料資源研究センター 古賀上席研究員



乙姫大橋外観



音沢橋外観



現地調査の様子（音沢橋）



道路メンテナンス技術集団から管理者への報告（音沢橋）